



通信

HP 学校だより
R4. 7. 13
NO. 16
文責 伊藤美佳



おいしかった ナスカレー

7月11日（月）に3年生と6年生が収穫したナス（105.8kg）を6年生の代表の子たちで給食センターに届けました。今年は6月、7月に暑い日が多くて日照時間が長く、適度に雨が降ったことから、ナスの収穫量は昨年度の倍以上、久しぶりに100kg越えでした。給食センターの方もびっくりの収穫量だったようです。

12日（火）の給食の献立は、豊坂ナスと深溝ナスを使ったナスカレーでした。幸田町中の小中学生が喜んでナスカレーを食べてくれたと思うと、3年生も6年生もナスを育てた喜びが倍増していることでしょう。収穫した3年生も6年生もこんなにおいしそうに食べていました。

次は、9月に3年生が給食センターに届けます。



楽しい縦割り活動

7月8日（金）と12日（火）の業間に縦割り活動が行われました。8日はプールに入っているクラスの子たちは時間いっぱい遊ばせませんでした。しかし、12日は恵みの雨（？）となり、縦割り班全員で遊ぶことができました。6年生の子どもたちは、縦割り班のみんなが楽しく遊ぶために何が必要か考え、準備し、当日をむかえました。たくさんの笑顔を見ることで、達成感を味わうことができたと思います。活動後のふり返りで、失敗を改善したからでしょう。「失敗は成功のもと」多くを学びました。



カラス VS 人間



先日、2年生が育てていたスイカが中身をみごとに食べられた状態で発見されました。前日に降った雨が、食べられた実の代わりに器となった皮の中にたまっていました。他にも、トウモロコシがきれいに食べられていたり、黄色いズッキーニもかじられた後があったりと、あと少しで収穫だと思っていた2年生の子たちはとても残念な思いをしました。しかし、「もう食べられたくない！」「こんな悔しい思いをしたくない」そんな思いをもった子どもたちが、知恵を出し合い工夫をして自分たちの作物を守ろうとすることは、すばらしい学びにつながります。農家の人たちが作物を食べられないように工夫をしていたり、ごみ置き場を荒らされないように工夫していたりするなど、身近なところでも「カラス対人間」の戦いは行われています。何気なく見過ごしていたことに目を向けていけることを大切にしていきたいです。

さあ、この頭脳戦を制するのはどっち？